

令和5年4月27日

令和5年度育友会総会資料

諫早市立長田小学校  
校長 真崎 哲也

～令和5年度の学校づくりについて～

学校教育目標

「なかよく がまん強く たのしく」  
〈スローガン〉 みんなが楽しくなければ学校ではない  
～一人ひとりが輝く、笑顔いっぱいの学校に～

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
○楽しく笑顔あふれる学校 (人権の保障) ○安全・安心な学校 (安全の保障) ○落ち着いて学べる学校 (学力の保障)	○ <b>なかよく助け合う子(徳)</b> ○ <b>がまん強く体をきたえる子(体)</b> ○ <b>たのしく進んで学ぶ子(知)</b>	○使命を自覚し、研修に励み、 学び続ける教師 ○豊かな愛情を持ち、子ども と共にある教師 ○保護者や地域の信頼と期待 に応える教師

令和5年度がスタートしました。3年間のコロナ禍が一定の収束を迎え、新たな日常が始まります。制限をしていたあらゆる活動を元に戻し、または新たな形に変え、思い切り、創造的に教育活動に取り組んでいきます。とは言え、3年間で習慣化されたものは簡単には拭えないものがあります。子ども達や保護者皆様の不安や戸惑いにもしっかりと寄り添い、緩やかに進めてまいります。

さて、子ども達の教育には様々な力が必要ですが、私は「子どもを想う熱と鑑となる親や教師の姿」こそが子どもを伸ばし、育てていく原動力になるのだと思っています。

教育の真ん中に子どもを据え、子どもを主語にして教育を推進していきましょう。子どもは言うとおりにではなく、したとおりに育つと言われます。協力すること、感謝すること、思いやること、努力すること・・・まずは私たちが手本を示しましょう。お一人の100歩ではなく、みんなの1歩を大切に、学校と育友会、地域がチームとなって動く教育実践を大切にしていきたいと思います。

以下に、4つの視点で、今年度特に力を入れたいことについて示しています。

## 1 なかよく助け合う子（徳）～豊かな心を育てます～

### (1) 道徳科の指導の充実を・・・

○授業に「自分ならどう考えるか」の視点を設け、建前でない本音を引き出す、多様な考えに触れる工夫（板書、クロム活用、体験、発問）に努めます。道徳ノートを持ち帰らせますので、ご家庭でもぜひ話題にしてください。

### (2) いじめや差別は絶対に許さない毅然とした指導を・・・

○日常の子どもたちの会話や人間関係をしっかり観察し、「いじめ」につながる小さな芽を見逃さず、早期の対応に努めます。

個々の意識のズレ（それくらい、遊び半分・・・）を正していきます。

### (3) 一人ひとりの良さ見つけ、支持的風土づくりを・・・

○「自分は〇〇に自信がある」、「あなたは〇〇がすごいね、素敵ね」一人のよさを輝かせ、みんなで認め合う風土づくりをしていきます。一人ひとりが居場所のある学級経営に努めます。ご家庭でもささやかながら、当たり前の言動もしっかり褒めてあげてください。

### (4) 声づくり（あいさつ・返事・発言）・・・

○あいさつ、返事、授業中の発言、音読などを通して、相手に伝わる声が出せるようにしていきます。声を出すことで自信につながり、存在感も高まります。

## 2 がまん強く体を鍛える子（体）

### (1) 基本的な生活習慣づくり・・・

○早寝、早起き、朝ご飯、持ち物準備等、生活習慣づくりにご協力ください。基本は「自分でできる」です。しかしながらそうはいかないのが子どもです。声かけや励まし、ルール作りをお願いします。

○最大の課題は「メディア時間」の制御です。特に平日の使用については親子ルール作りをお願いします。※大人も一緒に「がまん」です。※朝からのゲーム使用は控えるようお願いします。

### (2) 続ける力、がまんする力の育成を・・・

○自分の決めたことに粘り強く取り組む、きつくてもがんばる・・・そんな耐性を育てていきます。（家庭学習、給食、そうじ、諸行事等）ご家庭でも、何か一つ、毎日行う「役割」を持たせてはいかかでしょうか。そして、「ありがとう。おかげで助かるよ」と声をかけてあげてください。

### (3) コロナ禍の脱却と継続・・・

○マスクの着用は求めません。（個々の考えは尊重）

○消毒と手洗いの徹底は継続します。

○給食では、黙食は求めず、対面食事にはしばらく配慮していきます。

### 3 たのしく進んで学ぶ子（知）

#### (1) 夢中になり、分かる、できる実感を味わえる授業づくりを・・・

○私たち教師は授業で勝負です。子どもたちを引き込む授業、分かった、できた、伸びたが実感できる授業づくりに努めていきます。また、一人ひとりの課題をきちんと把握し、個別の対応にも丁寧にあたります。

#### (2) クロムブック等（ICT 機器）の効果的な活用・・・

○授業での活用は進んでいます。子ども達のスキルも高まっています。使うことが目的ではなく、学習内容がより分かるようにするためのツールです。「ノートに書く」という大切な事をおろそかにしないように努めます。

○家庭持ち帰りについては、本年度も学年の実態に応じ、その目的や学習内容を明確にして、取り組んでいきます。

#### (3) 基礎基本の学力づくり（定着タイムの拡充）・・・

○本年度より定着タイムを拡充し、国語と算数の基礎学力づくりを進めていきます。週4回、1回の時間は賞味7分間、授業内容や家庭学習内容とも結び付け、無理なく、確実な理解を図る取組にします。（計算力、漢字力、語彙力）毎日の積み重ねが大きな、確かな力になります。

#### (4) 家庭学習は大切です・・・

○各学年の実態に応じた内容と時間設定をしていきます。学校の授業と家庭での学習がつながっていくことが大切です。4年生以上には、復習だけでなく、予習にも取り組んで欲しいと思います。次の日に学習する所を「読むだけでも」理解には大きな差が出ます。

### 4 信頼づくり（地域・保護者との連携等）

#### (1) 安心・安全な学校づくり

○学校が安全・安心であることが教育の土台となります。毎日の登下校、学校施設の安全、非常変災や不審者への対応、不祥事防止等、日々の、また定期的な点検や訓練、学習会等の実施と十分な情報共有に努めます。気になることや要望等は何なりと相談ください。

#### (2) 創立150周年記念行事

○今年は全校で「長田」を「長田小」を改めて知る学習や機会を作っていきます。そのことを通して、ふるさと長田を想う心や自分にできることを考え、実行する力を育てていきます。地域総出でこの機会を大切にしていきたいと思います。

(3) 「長田中学校区コミュニティスクール」 2年目・・・

○「コミュニティスクール」とは、学校と保護者や地域の皆さんと共に知恵を出し合って、学校運営に意見を反映させることで、一緒に子どもの豊かな成長を支え、地域と共にある学校づくりを進める仕組みです。創立150周年も機会も関連付け、各学年の学習で、地域の素材、地域の人材を生かした学習をより一層進めていきます。保護者の皆様からもたくさんのアイデアをお願いします。

(4) 最後に・・・

○子ども達に教え、子ども達を導く立場として、一人ひとりの職員が自己の力量を磨く努力をしています。また、保護者の皆様との意思の疎通をしっかりと図ってまいります。

○諫早市で、学校で進めている「働き方改革」をご理解ください。決して教育の質や量を落としていくことではありません。教育の真ん中は「子ども」です。職員が健康で、笑顔で、はつらつであることが教育を、子どもを一層輝かせていくと考えます。

どうぞ、学校を信頼いただき、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

